

## 第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

名称【申請者】	使用等の内容	検討状況		承認の状況			
		農作物 分科会	総合 検討会	カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法	
				隔離ほ場	一般利用	食品	飼料
1 除草剤アリルオキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ (改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>add-1</i> , <i>Zea mays subsp. mays</i> (L.) <i>Iltis</i> ) (NK603×T25×DAS40278, OECD UI: MON-00603-6×ACS-ZM003-2×DAS-40278-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に含まれる組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2019年 8月5日 10月28日	2019年 12月20日	免除	-	-	-
2 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ (改変 <i>cry1F</i> , 改変 <i>cry1Ac</i> , <i>pat</i> , <i>Glycine max</i> (L.) <i>Merr.</i> ) (DAS81419, OECD UI: DAS-81419-2) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2019年 10月28日 11月28日	2019年 12月20日	-	2017年 (モニタリング有)	2014年	2015年
3 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネ ( <i>D6E(Pp)</i> , <i>D5D(Tc)</i> , <i>D6D(Ot)</i> , <i>D6E(Tp)</i> , <i>D12D(Ps)</i> , <i>O3D(Pir)</i> , <i>O3D(Pi)</i> , <i>D4D(Tc)</i> , <i>D4D(PL)</i> , <i>D5E(Ot)</i> , <i>AHAS(At)</i> , <i>Brassica napus</i> L.) (LBFLFK, OECD UI: BPS-BFLFK-2) 【BASFジャパン株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2019年 3月1日 8月5日 9月26日 10月28日 11月28日	2019年 12月20日	-	-	-	-
4 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネ (改変 <i>dmo</i> , <i>Brassica napus</i> L.) (MON94100, OECD UI: MON-94100-2) 【日本モンサント株式会社】	隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2019年 9月26日 10月28日 11月28日	2019年 12月20日				
5 除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ/ピマワタ (改変 <i>dmo</i> , <i>bar</i> , 改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L./ <i>Gossypium barbadense</i> L.) (MON88701×MON88913, OECD UI: MON-88701-3×MON-88913-8) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2019年 8月5日 9月26日	2019年 12月20日	-	2015年※	2014年※	2015年※

注1: 「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。

また、農作物の「隔離ほ場」欄における「免除」は、トウモロコシについては隔離ほ場試験が不要と判断されたもの、スタック系統については親系統と比較し形質間の相互作用が示されていないことを確認しているものであることを示す。

注2: 「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未確認であること、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。

ただし、「-」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

除草剤アリロキシアルカノエート系、グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ  
(NK603×T25×DAS40278)

名称【申請者】	使用等の内容	承認の状況				
		カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
		隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1 参考資料1の10頁 トウモロコシの番号 5	除草剤グリホサート耐性トウモロコシ ( <i>cp4 epsps, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Iltis) (NK603, OECDUI:MON-00603-6) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	-	2004年	2001年	2003年
2 参考資料1の10頁 トウモロコシの番号 6	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ ( <i>pat, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Iltis) (T25, OECD UI:ACS-ZM003-2) 【BASFジャパン株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	-	2004年	2001年	2003年
3 参考資料1の10頁 トウモロコシの番号 71	アリロキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ (改変 <i>aad-1, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Iltis) (DAS40278, OECD UI:DAS-40278-9) 【ダウ・アグロサイエンス日本株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2009年	2012年	2012年	2012年

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。  
また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたものであることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ/ピマワタ

名称【申請者】	使用等の内容	承認の状況				
		カルタヘナ法		食品衛生法		
		隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1 参考資料1の24頁 ワタの番号9	除草剤グリホサート耐性ワタ ( <i>cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913, OECD UI:MON-88913-8) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2004年	2006年	2005年	2006年
2 参考資料1の26頁 ワタの番号34	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタ (改変 <i>dmo, bar, Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701, OECD UI:MON-88701-3) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2012年	2015年	2014年	2015年

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。  
また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたものであることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

除草剤ジカンバ、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ/ピマワタ  
(MON88701×MON88913)

名 称【申請者】		使用等の内容	承認の状況				
			カルタヘナ法		食品衛生法 又は飼料安全法		
			隔離ほ場	一般利用	食品	飼料	
1	参考資料1の24頁 ワタの番号9	除草剤グリホサート耐性ワタ ( <i>cp4 epsps, Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88913, OECD UI:MON-88913-8) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2004年	2006年	2005年	2006年
2	参考資料1の26頁 ワタの番号34	除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性ワタ (改変 <i>dmo, bar, Gossypium hirsutum</i> L.) (MON88701, OECD UI:MON-88701-3) 【日本モンサント株式会社】	食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為	2012年	2015年	2014年	2015年

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。  
また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたものであることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、「-」は未確認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。